



# 上向台小だより

臨時号  
西東京市立上向台小学校  
令和3年10月1日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

## 令和3年度 第1回 学校アンケート（児童）のまとめ

1学期末に児童を対象に学校アンケートを実施しました。結果についてご報告いたします。

### <アンケート項目>

#### 1, 2年生

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) じゅぎょうでは、めあてをもってすすんで学習し、まとめやり取りをしていますか。	1	2	3	4
(2) じゅぎょうでは、すすんで友だちとはなしあったり、自分のかんがえたことをわかりやすくつたえたりすることができていますか。	1	2	3	4
(3) 今までに学習したことがよくわかっていますか。	1	2	3	4
(4) 学校のじゅぎょうでは、タブレットをつかいながら学習することができていますか。	1	2	3	4
(5) 体育の学習に楽しく取り組んでいますか。	1	2	3	4
(6) 正しいことばづかいに気をつけ、友だちの名まえを「さん」をつけてよんでいますか。	1	2	3	4
(7) 自分は、いじめはぜったいにしないと自覚していますか。	1	2	3	4
(8) 上小のきまりをまもり、けんこうやあんぜんに気をつけて生活することができていますか。	1	2	3	4
(9) 自分からすすんであいさつをしていますか。	1	2	3	4
(10) ほかの学年の友だちと遊んだり、いっしょにかどうしたりすることはたのしいですか。	1	2	3	4
(11) 池いきに出かけて学習したり、池いきの人とかかわったりすることはたのしいですか。	1	2	3	4

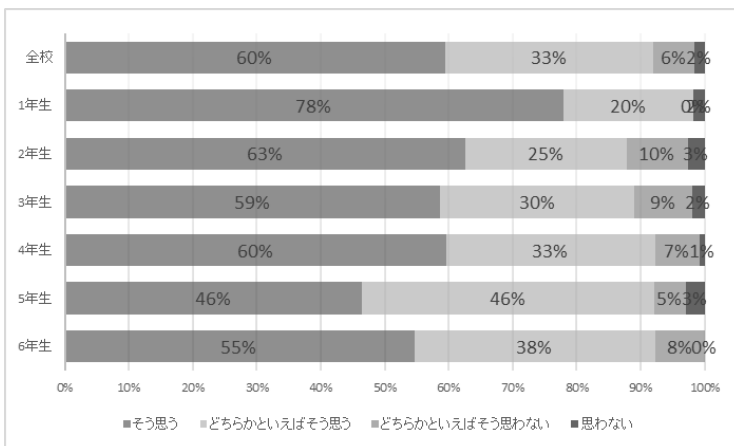
#### 3, 4年生

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 授業では、めあてをもってすすんで学習し、まとめやり取りをしていますか。	1	2	3	4
(2) 授業では、自分と他の人の考えをくらべたり、考えたことをわかりやすくまとめて伝えたりすることができていますか。	1	2	3	4
(3) 今までに学習した内容がよく分かっていますか。	1	2	3	4
(4) 授業では、タブレットを活用しながら学習することができていますか。	1	2	3	4
(5) 体育の学習では、自分の運動のからだを見つねながらすすんで取り組むことができていますか。	1	2	3	4
(6) 正しい言葉づかいを意識し、相手への思いやりの気持ちをもって、「さん」つけてよんでいますか。	1	2	3	4
(7) 自分は、いじめは絶対しないと自覚していますか。	1	2	3	4
(8) 上小のきまりを守り、けんこうやあんぜんに気をつけて生活することができていますか。	1	2	3	4
(9) だれに対しても、自分からすすんであいさつをしていますか。	1	2	3	4
(10) ほかの学年の友だちと遊んだり、いっしょに活動したりすることは楽しいですか。	1	2	3	4
(11) 地域の人・もの・こととかかわりを通して、学ぶことは楽しいですか。	1	2	3	4

#### 5, 6年生

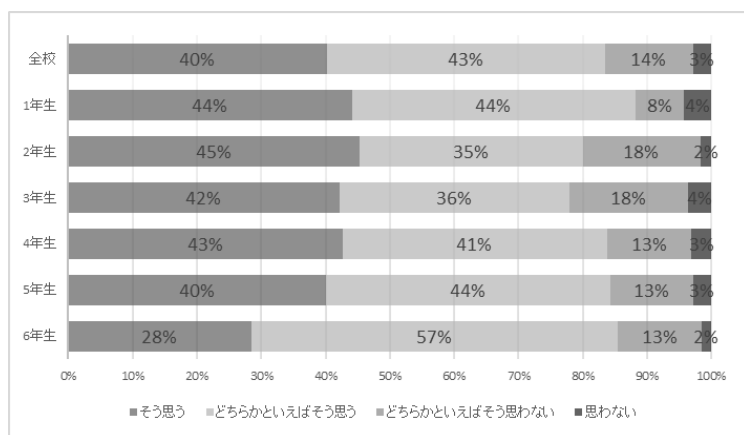
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 授業では、めあてをもってすすんで学習し、まとめやり取りをしていますか。	1	2	3	4
(2) 授業では、様々な視点から考え、根拠を明らかにして表現することができていますか。	1	2	3	4
(3) 今までに学習した内容がよく身についていますか。	1	2	3	4
(4) 授業では、タブレットを活用しながら学習し、自分の学びに生かしていますか。	1	2	3	4
(5) 体育の学習では、自分やグループの課題を見つねながらすすんで取り組むことができていますか。	1	2	3	4
(6) 正しい言葉づかいを意識し、相手を尊重する気持ちをもって、「さん」付けてよんでいますか。	1	2	3	4
(7) 自分は、いじめは絶対しないと自覚していますか。	1	2	3	4
(8) 上小のきまりを守り、健康や安全に気をつけて生活することができていますか。	1	2	3	4
(9) 高学年としての自覚をもち、自分からすすんであいさつをしていますか。	1	2	3	4
(10) 下級生のことを考えたり、他の学年の友だちと一緒に活動したりすることに意欲的に取り組んでいますか。	1	2	3	4
(11) 地域の人・もの・ことから課題を見つけ、解決に向けて取り組むことは楽しいですか。	1	2	3	4

### 1 主体的な学びについて



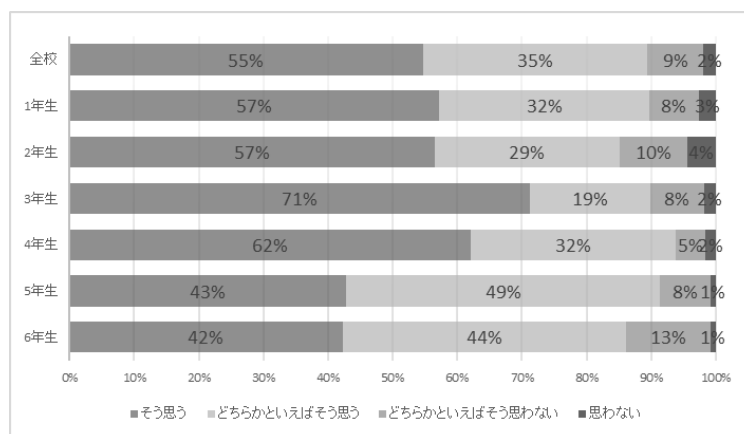
上向台小では、「自らめあてをもって学習に取り組み、毎回の学びについて振り返る」という学習の進め方を推進しています。アンケートでは、約9割の児童がめあてをもってすすんで学習していると肯定的に回答しました。今後も、児童が明らかにしたいと思える学習課題を設定するとともに、課題解決に向けて見通しをもって取り組むことができるようにしていきます。そして、学習後の振り返りを大切にし、新たな課題への動機付けや、自己の成長への気付きを促し、主体的に学ぶ態度を育てていきます。

## 2 対話的な学びについて



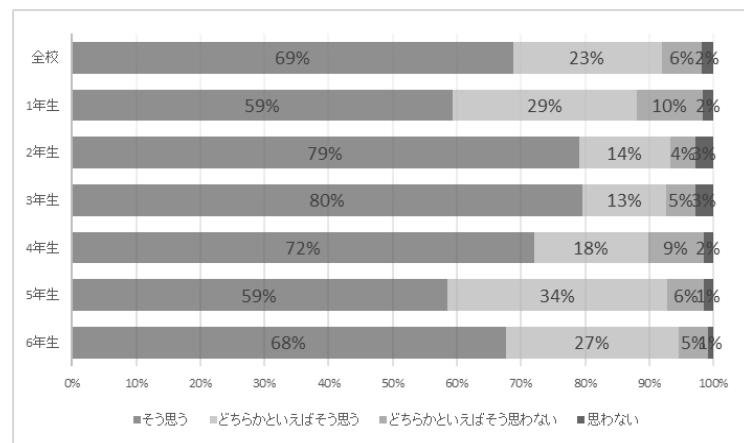
8～9割の児童が「自分の考えを相手に分かりやすくまとめたり伝えたりすることができている」と回答しました。直接的な対話だけでなく、オンライン上のほうが自分の考えを表現することに抵抗が少ないと感じる児童も見られました。様々な人との交流によって、見方や考え方を広げたり、協働して問題解決に取り組んだりする良さを実感できるよう授業改善に努め、児童が多様な視点から考えたり、根拠をもって自分の考えを表現したりする力を伸ばしていきます。

## 3 基礎基本の定着について



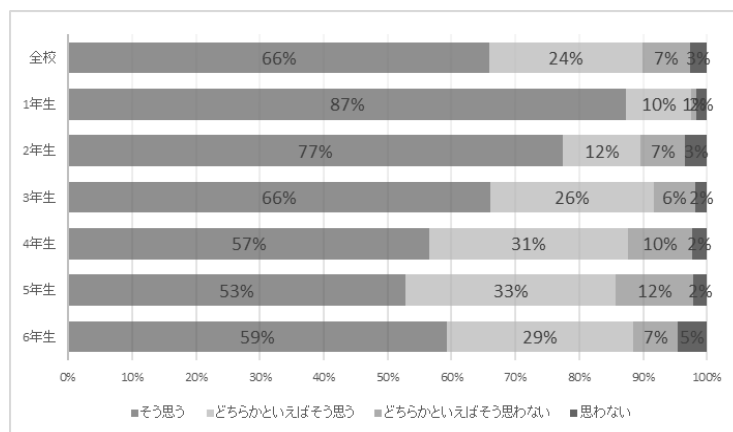
肯定的な回答をした児童が多く、「授業で学んだことを理解できている」と実感していることが分かります。一方で、7月に2年生以上で実施した東京ベーシックドリル（算数）の結果からは、一部定着に不十分な内容もあることが分かりました。引き続き、朝学習の時間や月1回の補習日などを活用しながら、既習内容の定着に努めていきます。また、本校では、「家庭学習のすすめ」に基づき、学年×10分を目安に家庭学習の仕方を指導しています。これからも、学年の進行に応じて自主的な学習の時間を推奨するなど継続的な指導をご家庭と連携しながら進めたいと思います。ご協力をお願いいたします。

## 4 タブレットの活用について



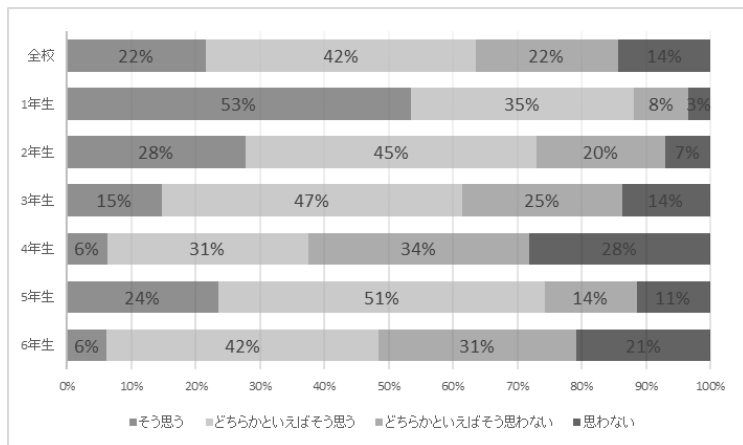
今年度よりタブレットを活用した学習を進めています。操作に慣れるところからスタートし、初めのうちは十分な活用ができませんでしたが、アンケート結果からは、どの学年でも9割程度の児童がタブレットを活用しながら学ぶことができていることが分かります。また、9月に実施したオンライン授業を通して、児童のスキルも向上し、学習における活用の幅も広がってきています。今後も、タブレットの良さを生かした質の高い授業を目指していきます。

## 5 体育の授業について



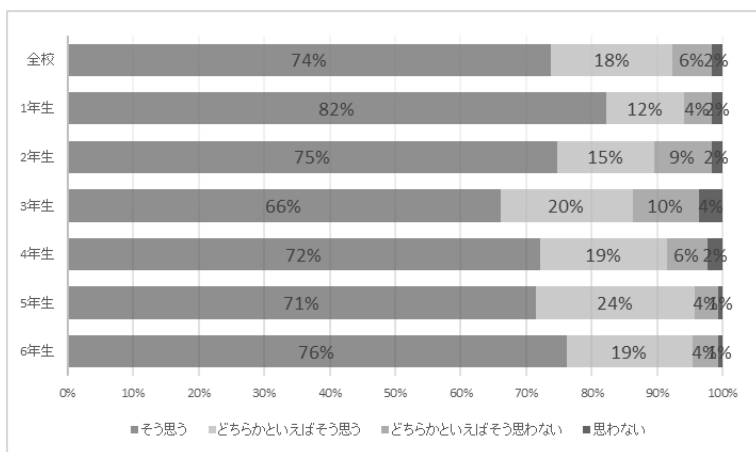
本校では、昨年度に引き続き、体育科の授業研究をすすめています。アンケートでは、全校児童の9割が体育の学習について肯定的に回答し、楽しく意欲的に取り組んでいることがうかがえます。また、学年が上がるにつれて、課題意識を明確にしながら学習の見通しをもって取り組む姿、自己の成長を実感しながら全体でも高め合おうとする姿が見られています。認め合いや高め合いにつながる対話を充実させ、自ら進んで運動する児童を後押ししていきます。

## 6 言葉遣いや「さん」付けについて



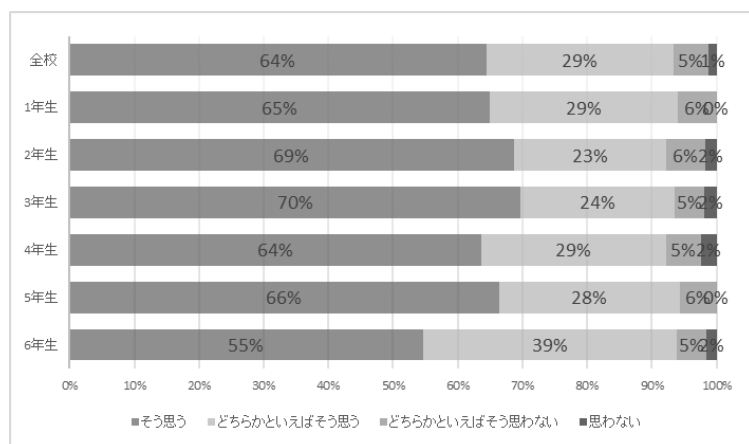
「西東京市子ども条例」や「西東京あったか先生」の趣旨の下、相手への思いやりや人権感覚を育むために、誰に対しても「さん」を付けて名前を呼ぶことを今年度より全校で取り組んでいます。正しい言葉遣いや相手を「さん」付けて呼ぶことが「できている」と肯定的な回答を示した児童は全校児童の6割となりました。学年により差が見られますが、少しずつ意識が広がってきていることが分かります。まずは、教職員が手本となり、いつでも誰に対しても「さん」を付けて呼ぶことや丁寧な言葉遣いをするのを心がけ、児童を取り巻く言語環境を整えていきます。

## 7 いじめ防止について



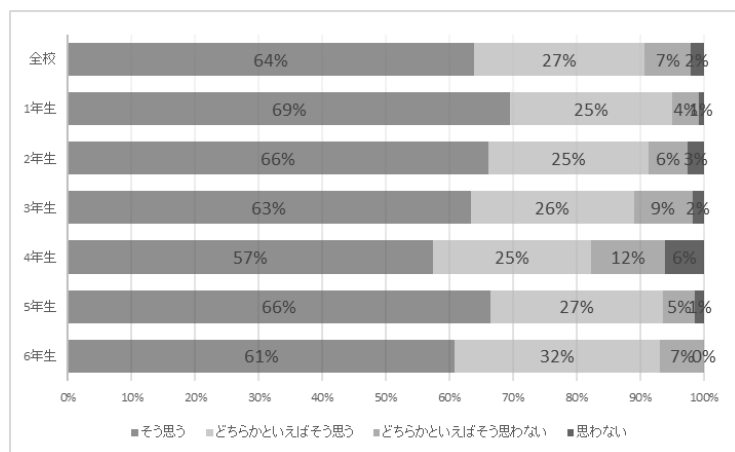
全体の9割以上の児童が「絶対にいじめをしない」という意識をもって行動していることが分かります。本校では、道徳の授業、学級活動などを通して、いじめは人権侵害であり絶対に許されないものであることを繰り返し指導しています。また、年3回の「ふれあい月間」には、アンケートを通して全児童の悩みや不安を聞き、いじめの実態を把握しています。引き続き、教職員の組織的な対応を徹底し、いじめ防止に努めるとともに、インターネットを通じてのいじめなど、新たな問題にも対応していきます。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

## 8 学校のきまりや 安全・健康について



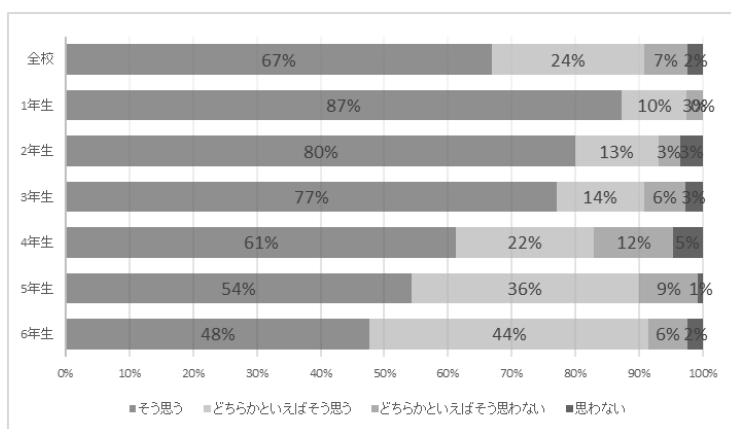
「学校のきまりを守り、安全や健康に気を付けて生活することができている」と回答した児童が全ての学年で9割を超えています。日常の生活場面でも、児童が互いに声を掛け合い、自らきまりを守る姿が多く見られています。きまりを守る大切さを理解し、実践できている姿を積極的に認め、褒めていきます。また、タブレット活用に伴い、情報活用のルールやマナーを身に付けることについても一層重要となります。発達段階に応じて指導し、児童一人一人の情報モラルを一層高められるようにしていきます。

## 9 挨拶について



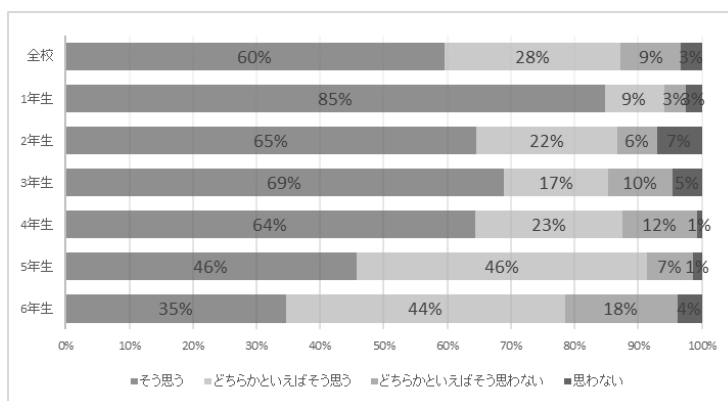
多くの児童が「自分から進んで挨拶している」と回答しています。特に、登下校の際には積極的に挨拶ができる児童が増えており、学校全体に広がっています。今後はさらに、いつでも誰にでもすすんで挨拶をすることができるようにしていきます。大人が率先して手本となる姿を示しながら、保護者や地域の方に対しても積極的に挨拶できるように、よりよい挨拶習慣を育てていきます。

## 10 異学年交流について



「他学年との遊びや交流活動を楽しんでいる」と回答した児童が全体の9割を占めます。コロナ禍により、縦割り班活動や全学年が一度に集まって交流する機会が減っていますが、1学期は、タブレットの使い方を高学年が低学年に教えるなど、制限下においても交流の機会を設けました。引き続き、学年・学級単位での異学年との交流活動や学習場面での学び合いや教え合いなど可能な方法を模索しながら、異学年交流の機会を保障していきます。

## 11 地域との関わり・学習について



8割以上の児童が「地域の『人・もの・こと』と関わって学習することが楽しい」と回答しています。以前に比べて地域との直接的な交流が難しい現状にありますが、「地域とともにある学校」を目指し、主に、生活科や総合的な学習の時間において、地域の方とのつながりを作ったり、学んだりする活動を一層積極的に行っていきます。また、状況に応じてオンラインを通じたスペシャリストとの交流も実施していきたいと考えています。現在、児童一人一人が地域への愛着をもち、学年進行に伴って「地域の一員として何ができるか」という視点をもって探究できるようなカリキュラムを開発中です。